

目標達成計画

作成日：平成 26 年 10 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束についての研修は定期的に行っているが、各ユニットの出入り口の施錠については「安全のため」という理由で24時間開放されていない。また廃止に向けての話し合いや試みは見られていない。	自由な暮らしを支援するため目の行き届く時間帯を作り、各ユニットの出入り口の解放を実施する。	1Fのユニットの利用者で歩行もしっかりされ帰宅願望の強い方がおられる為、まず2Fユニットの一番スタッフの多い時間帯(16時～16時半)に解放する事から始めていく事とする。	6ヶ月
2	35	避難訓練は定期的に行っているが、地域住民の参加がなく、また夜勤想定訓練は実施されていない。夜間を想定した避難訓練は重要である。また地域の方々に見守りなどの役割分担をお願いする事が必要である。	夜間想定訓練を実施して行く。地域住民に参加して頂ける様にする。	夜間を想定した避難訓練を実施し利用者の誘導を確認する。運営推進会議開催時に地域住民で参加して頂ける方を確認し、声かけをして頂く。	6ヶ月
3					v
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。